

科目コード	2698250	【授業内容】 長崎大学の練習船「長崎丸」に乗船して実施する1泊2日の体験型合宿授業です。長崎大学水産学部の教育機関及び船員の養成機関でもある練習船に、長崎大学学生と共に乗船し、船に関する知識と海洋調査により、現在の環境を調べる手段とその重要性を理解して頂きます。 【到達目標】 海洋環境の変化を把握する為に、様々な観測機器を使い、海水や、泥等を採取し含まれる生物等を調べる事により、現状を把握し、生物環境保全への手段を提案する事が出来るようになる。 【授業テーマ】 第1回（船内活動）ガイダンス、練習船の見学（山脇） 第2回（室内講義）安全設備の解説と避難訓練（森井） 第3回（航海実習）操船、機関室見学、船舶運用実務（森井） 第4回（室内講義）船の基礎知識について（森井） 第5回（観測実習）CTD観測、採水、透明度（山脇） 第6回（観測実習）採泥、プランクトン採集（山脇） 第7回（室内講義）海の生物と環境（山脇） 第8回（室内講義）海洋観測について、2日間のまとめ（森井） 【学生へのメッセージ】 全世界の環境が大きく変化してきている現在において、日本人にとって大きく関係している食糧資源となる魚類の生息域の変化も顕著になってきています。海洋の生産の基礎となる海洋プランクトンおよびその環境について学び、さらに産業としての漁業について理解を深めて頂きたいと思います。 【受講前の準備学習等】 授業で説明する資料を事前に配布します。 長崎丸に搭載されている航海計器・観測機器の名称、使用目的等を事前に理解して下さい。 現在の環境変化による災害等に関する情報収集に努めて下さい。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 野外活動ができる服装と靴でお越しください。レポートがありますので、筆記用具を準備ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 船内の宿泊は2～4名の相部屋です。船内は急傾斜の階段が多いため、階段の昇降に支障のない方に限ります。 船上での実習を実施するため、天候等状況に応じて授業時間割を変更して実施することがあります。 参加費・交通費として授業料とは別に、15,000円程度（※施設維持管理費（10,000円）、食費・クリーニング代（2,500円程度）、交通費（2,500円程度））が必要です。参加費・交通費は当日徴収します。受講できなくなった場合は、必ず事前に長崎学習センターに連絡して下さい。乗船14日前（11月14日）以降にキャンセルの場合は、食費分をいただきます。 ※長崎丸の乗船には、2020年度から「長崎丸共同利用における施設維持管理費」10,000円が必要になりました。（上記15,000円程度に含んでいます。） 授業1日目は、午前8時30分までに学習センターに集合後、係留場所（長崎市多良町）までバスで移動します。なお、詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険（100円）および「学生教育研究賠償責任保険（340円）」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	五島灘洋上実習	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	28名	
担当講師	モリイ ヤスヒロ 森井 康宏 長崎大学水産学部教授 ヤマウキ ノブヒロ 山脇 信博 長崎大学水産学部准教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	この授業は、【★長崎大学水産学部附属練習船長崎丸】で行います。	

授業概要